

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局

〒640-8314
和歌山市神前 405-3
TEL 073-473-2301
FAX 073-473-2302

発行責任者
藤本 哲史

「部落差別解消推進法」が施行されました。

2017年新春交礼会

部落解放和歌山県企業連合会



あいさつする瀧口秀光・理事長

2017年 企業連新春交礼会ひろく

1月20日「部落解放和歌山県企業連合会2017年新春交礼会」が、ダイワロイネットホテルで多くの来賓が参加のものとひらかれた。

瀧口秀光・理事長から「今日の日本経済は、国は公共事業・規制緩和・成長戦略を中心とした経済政策を推進してきたが、中小零細企業においては仕入価格の高騰や他社との価格競争等によって売上や所得の減少がつづいており、消費税率引き上げによる価格転嫁の問題と相まって大きな経営課題となっている。また、昨

年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が制定されたことをふまえ、今後、部落差別撤廃に向けた強力なとりくみが求められている。企業連としては、部落差別にむけた運動の前進と、厳しい経済状況に企業が対応できるような経営指導の強化を徹底し、部落産業の育成と振興にむけたとりくみを推進していくことが重要である」と年頭のあいさつがあった。

つづいて、藤本哲史・県連執行委員長、来賓を代表して岡本圭剛・県商工観光労働部長、荒竹宏之・和歌山市副市長よりあいさつをいただき出席者による懇親を深めた。

【来賓】
●和歌山県
岡本圭剛・商工観光労働部長、稲葉信・商工観光労働総務課長、南木芳亮・商工振興課長、高瀬一郎・企画部長、北山芳宏・県参事、橋口佳幸・人権政策課長
●和歌山市
荒竹宏之・副市長、辻正義・市長公室長、田又俊男・総務局長、坂本安廣・産業まちづくり局長、有馬専至・産業部長、松村光一郎・産業政策課長、小嶋義之・商工振興課長、鈴木豪・都市計画部長、西本幸示・都市計画課長、坂口智己・市民部長、前島康成・市民生活課長、山下勝則・市民課長、益田照久・人権同和施策課長
●日本政策金融公庫和歌山支店
金子英一郎・支店長兼国民生活事業統轄、野村文雄・農林水産事業統轄
●和歌山県信用保証協会
西田博章・常務理事、堀川与利人・常勤理事
●和歌山商工会議所
上田賢司・理事
●和歌山県商工会連合会
湯川恭英・参与
●(株)紀陽銀行本店
上土谷武・人事相談室長
●顧問税理士
仁木靖夫・橋本義彦・顧問行政書士、新井悠喜雄
(順不同・敬称略)

頑健

時間がたつのが早い、もう春だ。3月が弥生で4月が卯月、語源は「草木が芽吹く(弥生)」「卯の花が咲き、苗を植える(卯月)」ということだ▼この春、明治から昭和まで波乱の人生を送った歌人「柳原白蓮」が亡くなってから50年になる。女性が個人として尊重されなかった時代に、ひとりの人間として、みずからの意思で人生を生き抜いた人だ▼さて、白蓮はNHKの朝ドラで再認識されたが、現在「べっぴんさん」が放映されているが、その登場人物の「エイスの社長・栄輔」が妙に懐かしい。栄輔のモデルは、ファッションブランド「VAN」を立ち上げた石津謙介でアイビールの創立者である。和歌山で流行するのは少し遅れたが、私たち団塊の世代の憧れであった。今は、寂しくなったぶらり丁に専門店があった。紺のブレザー、白のコットンパンツとソックス、ローファ(シューズ)、そして忘れてはならない「平凡パンチ(男性雑誌)」、すべてが懐かしい青春の思い出である。そのうち、ゴライオンのモデルになっっている「レナウン」のCMソングも流してほしいと思う。時代は、高度経済成長期である▼60年代は、一方では反戦運動やフォークソングの時代でもある。日本が、終戦からオリンピック、万博と大きく変わっていった頃のこと、現在を考えるルーツがそこにあるような、そんな感じでもある。(S・I)